

なんと20年ぶり!

2025年12月14日にちようび、

水生植物園で

かいぼりやっただよ

かいぼり
スタイル

防水の
防寒着

アームカバー

胴長

軍手



寒い中、池に入って泥と格闘し、生きものを探し続けたあの日…。

みなさんの奮闘のおかげで、生きもの救出作戦は無事完了!

大人も子供も夢中になった泥まみれの熱気と、私たちがこの森に込めた想いを報告します。



百戦錬磨のスタッフが
過去最強と認めた泥が
コレだ!

身動きが取れなくなった子供達。
脱出を試みつつ助けを待つ彼らは全員
驚くほど落ち着いていた!



板を沈めて
その上に乗れば
それ以上は沈まない!



ぱっと見て
何もいなくても、
よく見れば結構
生きものがあるな

泥にはまると
こんなにも動けなく
なるなんて……

でもこれは
貴重な体験かも

そもそも かいぼりってなに?

もともとは農業用ため池を維持するために、農閑期に行われてきた伝統的な作業(池干し)のことです。近年、この工程が、池の生態系再生につながることで再評価されています。堆積した有機物を天日にさらして分解することで水質を改善し、外来種を除去して、在来種がのびのびと暮らせる環境を取り戻す。いわば、池のリフレッシュ大作戦なのです!



上/いつもの水生植物園
下/水を抜いた水生植物園

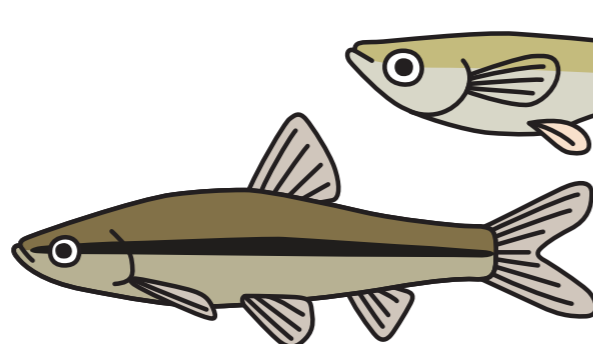
この日のことは一生忘れない。

前回のかいぼり実施から約20年。溜まった泥は予想以上に深く、足を取られて動けない人が続出。泥の上に板を浮かべて道を作り、網とタライを手に進む姿は、まさに決死の探検隊! 皆さんの見事な連携のおかげで、無事に生きもの救出作戦を完了することができました。そして、もう一つ嬉しいニュースが! 20年前のかいぼりでは、生態系を脅かすブラックバスやブルーギルが約2,000匹も捕獲されました。ところが今回、それらの外来種はなんと「ゼロ」。これは、皆さんが「放流しない」というルールを守り、この森を大切に思ってくださった証です。職員一同、その嬉しさを噛み締めた一日でもありました。

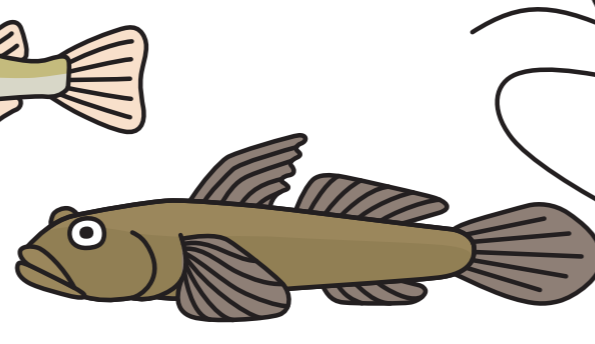


全員集合! 本日はお疲れ様~!

捕獲された生きもの



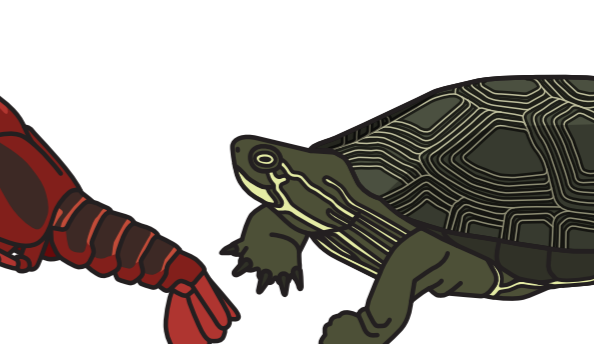
モツゴ
111匹



メダカ
19匹



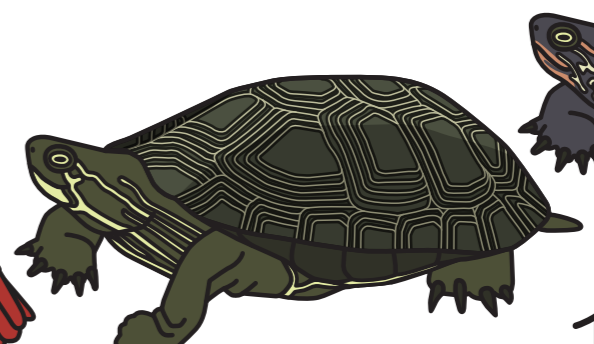
クロダハゼ
19匹



スジエビ
57匹



アメリカザリガニ
7匹



クサガメ
18匹



クサガメと
イシガメの交雑個体
ウンキュウ
1匹



かいぼりはたくさんの人の協力がないとできないんだ!

研究する人
泥の中から水草の種を採取します。前回のかいぼりから20年。20年前の水草の種、発芽するかな? それを見守る、気の遠くなるような研究です。
水草の研究者
帝京科学大 片桐さん

池の水を抜く人
例の番組がスタートで、今ではすっかりかいぼりが我々の事業の中心に! 一同やりがいを感じています。これからも動物、植物を守る為に池をキレイにしていきます!
丸三興業 中村さん

自然教育園と一緒に企画・運営する人
全国100箇所以上の池のかいぼりをやってます。環境問題を「自分ごと化」するのにかいぼりはとても良いツール。誰でも、自分の家の近所の池にはめちゃうちゃ興味があるんです。そんな地域の方と一緒に活動をして、池を通して環境問題を知ってもらおう。それがいずれ世界を変えていく。私たちはそう考えています。
NPO birth
久保田さん、木村さん



思ったよりも外来種が少なくて、継続的な活動の重要性が分かった

かいぼり後を見にきたいです

地面の有難みを感じた

楽しかったけど、生きもの採集をする余裕がなかった



生物の捕獲をする参加者の皆様

生き物の仕分けを手伝うのが楽しかった

池の様子、泥まみれの体験を通して分かった

魚があまりとれなくて残念



スタッフさんの言う“過去一ひどい泥”をほぼ初体験で体験できて面白かった

「湘南藤沢キャンパスの池のかいぼりがしたい!」「将来自然に関わる仕事がしてみたい」(慶應大自然大好きサークル)

それはボクが先回りして食べちゃったからです。てへ♥ (ダイサギ)



参加者の皆様、ありがとうございました



今回は5,000円という決して安くはない参加費をいただき、本イベントを実施しました。実は今、園内の樹木老齢化が進み、安全確保のための予防的な伐採等に多額の予算が必要です。そのため、環境整備に十分な資金を回すのが難しい現状があります。しかし、ここは国指定の天然記念物。地域の「宝」とも言えるこの森の生物多様性を守り、次世代へつなぐため、皆様の支援が大きな力となりました。泥にまみれて一緒に汗を流してくださった皆様は、もうこの森の大切なパートナーです。これからも支援や活動を通して、この豊かな自然と一緒に守っていただくと嬉しいです。応援をよろしくお願いします!